

いりよりの ひろば

Vol.
228
2017.9.25

■1面 下肢静脈瘤治療に対する
高周波アブレーション
カテーテル治療開始

■2面 化学療法の脱毛について

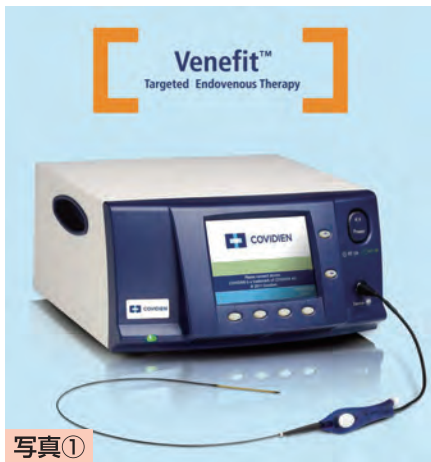
■3面 地域医療連携
「整形外科リハビリテーション科
たかだクリニック」

■4面 市民公開講座開催

下肢静脈瘤治療に対する 高周波アブレーション カテーテル治療開始

■下肢静脈瘤とは

血管には、血液を体に送る動脈と体の隅々で不要になった老廃物を含んだ血液を心臓に戻す静脈があります。下肢の静脈には筋肉の中やもつと深いところを流れている深部静脈と、皮下にある脂肪の中を流れている表在静脈があります。足の血液のほとんどが深部静脈を通り、心臓に戻りますので、足の血液循環において深部静脈はとても重要な血管です。表在静脈のなかには、伏在静脈と呼ばれる太い静脈があります。この伏在静脈が太ももやふくらはぎなどの所々で深部静脈とつながっています。重力に逆らって足から心臓まで



写真①

血液を戻すため、ふくらはぎの筋肉が伸び縮みすることで深部静脈に搾りだされ、深部静脈の血液逆流防止弁の働きにより一段一段階段を上るように足の血液は上へと押し上げられます。下肢静脈瘤は、伏在静脈の弁の働きが悪くなり、きつちりと閉まらないために血液が足先に向かって逆流するのが原因です。静脈弁の障害の原因には、遺伝的素因、妊娠、生活習慣、立ち仕事などいろいろあり、特に年齢の要素が大きく、加齢とともに悪化していくことが多いです。血液の逆流によって、ふくらはぎの筋肉には余分な仕事が増えます。逆流が少量の時には、ふくらはぎの筋肉は十分に対応できますが、静脈が拡張し逆流量が増加すると対応ができなくなってきました。このような状態になると、血管の中に血液がどんどんとたまり、血管が膨らんで、ふくらはぎ辺りに血管がポコポコと瘤のように浮いて見える様になります。これが下肢静脈瘤です。これが進行すると、足のだるさや夜間にこむら返りがおこり、足が腫れてきます。静脈瘤のある足では、ふくらはぎの太さに左右差をよく認めます。また皮膚

の栄養状態が悪くなるために、ふくらはぎに皮膚炎や色素沈着をきたし、黒くなってきました。この状態が進めば皮膚に潰瘍ができます。



心臓血管外科 主任部長
岡 隆紀

■高周波アブレーション カテーテル治療の導入

当院では下肢静脈瘤に対する治療はストリッピング手術(静脈抜去術)を中心に、基本的に入院のうえ全身麻酔あるいは下半身麻酔で行ってきました。そのため入院を望まない方や仕事が休めない患者さんには大変ご不便をおかけしておりましたが、この7月から高周波アブレーションカテーテル治療装置(写真①)を導入し、局所麻酔下での日帰り手術も積極的に行っています。ほとんどの患者さんはこれで可能ですが、手術の痛み・不安の感じ方につきましては個人差がありますので、患者さんと事前に相談の上、従来通りの全身麻酔+入院でも対応させていただきます。

■高周波アブレーション カテーテル治療とは

高周波とは医療分野で広く使われている電磁波の一種です。100℃前後の熱を発生させ、

以前からがん治療に利用されています。本治療では460kHzの高周波を利用してカテーテルを使い治療を行います。手術方法は高周波で静脈壁を焼灼する方法です。具体的には120℃の温度で静脈壁を焼灼することで、静脈壁のコラーゲン線維が熱変性します。それにより静脈瘤の閉塞が起きるという仕組みです。

手術は当院の血管疾患に精通した心臓血管外科専門医が担当します。当院ではこれまで下肢静脈瘤手術を1000例近く経験しています。また、術後に体調不良等が起こった場合でも24時間当院で対応いたしますので、安心して治療を受けていただけます。

全ての静脈瘤の治療を高周波だけでは出来ませんので、これまでの経験を生かし、高周波・ストリッピング術・高位結紮・硬化療法の中から下肢静脈瘤の病状に最適な治療法を提案し、患者さんに最適な下肢静脈瘤治療を提案したいと考えています。

①カテーテル挿入



カテーテルを静脈に挿入し、治療の開始位置まで前進させます。

②血管の準備



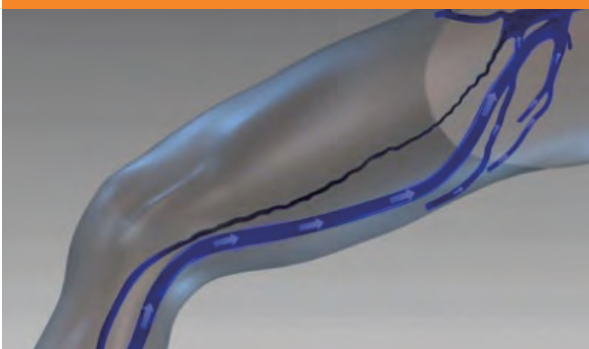
処置する静脈に局所麻酔を実施します。これにより患者さんの疼痛を軽減し、血管周囲の組織を保護します。

③セグメンタルアブレーション



長さ7センチ分の静脈を20秒間で一度に焼灼します。これをセグメンタルアブレーションと言います。

④血管の閉塞



カテーテルの熱により血管のコラーゲン線維が厚く変形し閉塞が完成します。血流は自然に正常な血管を通るようになります。

認定看護師に聞く

化学療法の脱毛について

化学療法には薬の種類によってさまざまな副作用があります。その一つである脱毛は、抗がん剤など毒性を持つ薬剤が成長期の毛母細胞に直接作用することや発熱・栄養障害・ストレスなどが原因でおこると言われています。現在、脱毛を予防することは難しく、ウィッグや帽子、メイクなどで外見を整えることが大切とされています。化学療法前には「髪の毛が抜ける事が一番嫌です」と話される方が多く、外見の変化は男女問わずショックなことです。脱毛をきっかけに外出を躊躇されるなど、今までの日常生活に影響を及ぼすこともあり、それらは治療意欲にも影響します。治療と平行して普段と同じような生活が送れることが重要です。そのためにも、化学療法前には、脱毛の時期、脱毛の仕方などイメージができるようにご説明させていただきます。その後、ご自身にあったウィッグや帽子の選択、パンフレットを用いた情報提供と頭皮のケアやメイクの方法をお示しします。また、日常生活の不安や悩みにつ

がん化学療法看護認定看護師 南出 美砂



いての相談も行っています。外来化学療法室では待合室にウィッグの見本や帽子などの展示をさせていただいております。実際に手に取ったり、別室で試着することもできます。各種パンフレットも準備しております。

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療を行う患者さんの副作用をできるだけ最小限にして、治療が継続できるよう支援を行います。また治療前や治療変更時など、疑問や不安に対し医師と共にサポートする体制を整えております。外来化学療法室にありますのでお気軽にお声かけください。



地域医療
連携

開放型登録医紹介 vol.101

整形外科リハビリテーション科 たかだクリニック

院長 高田 潤 先生

患者さんに
「来てよかった」と
笑顔で帰って頂くために



開院の経緯

平成17年に長崎大学医学部を卒業後、淀川キリスト教病院で初期研修を行い、その後大阪市立大学の整形外科医局に入局し、関連病院で外傷・変性疾患などの整形外科疾患の研鑽をつみました。大学病院では整形外科の中で骨軟部腫瘍（骨や筋肉の腫瘍・

がん）を専門とし、外傷・変性疾患の診療では経験できない経験をいろいろとさせていただきました。その後急性期病院・回復期リハビリテーション病院などでの勤務を経る中で、次第に患者さんの「その後」に関わりたいと思うようになりました。病院では急性期、回復期など病院の機能が細分化されており、一人の患者さんの全ての経過を診ていくのは困難と思うことがよくありました。もともと二人一人の患者さんと同じく、ゆっくり向き合いたいとの思いが強くなり開業に至りました。開業後も大阪市内で勤務していたときの患者さんが、少し遠くなくても変わらず通って下さっていることは大変ありがたく思っています。私も妻も高槻出身、妻は高槻病院で昔勤務させていたでいておりました。今後は出身地であります高槻の地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

クリニックの特徴

整形外科専門医、リハビリテーション専門医としての経験を生かして、当院の治療はリハビリテーションを重視しており、リハビリテーション室も広く設けております。理学療法士や柔道整復師、マッサージ師、アスレティックトレーナー等の幅広い資格を持ったスタッフと治療方針を話し合っ、一人一人の



状態にあったリハビリを提供しています。患者さんの状態が改善し、引き続き通院していただける喜びを開業してからのスタッフと共に

日々感じています。整形外科疾患に限らず、いろいろなことを幅広くご相談いただけることも当院の特色だと思っております。ローテート研修医の頃の内科・小児科や救急外来などでの経験が、とても生きていると感じています。小さなお子さんから高齢の方まで気軽にお越し頂けるクリニック作りを目指しております。当院は「整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科」を標榜していますので専門分野はもちろんです。どんな患者さんでもまず自分で対応し、必要に応じて近隣の開業医の先生方、適切な病院、診療科へ紹介するよう心がけています。どんな患者さんでも、どんな小さなことでもお気軽に来院頂き、患者さんが診療に満足して下さって、「ここに来てよかった」と笑顔で帰って頂くことが私の本望です。

高槻病院への要望

開業してから早速いろいろな症例の患者さんを紹介させていただいておりますが、急な依頼



にも迅速に対応して下さり本当にありがとうございます。こちらから依頼させていただきたくだけでなく、高槻病院で手術を受けた患者さんも含めまして、保存的治療の継続・リハビリテーションなどが必要な患者さんがおられましたら、どんなサポートさせていただきますかと思っておりますので、今後ともよろしくお願致します。

高田先生、お忙しい中、快くインタビューをお受け頂き、ありがとうございました。最後に先生とリハビリスタッフさんの皆さんでお写真を撮らせて頂いたのですが、非常に和気藹々とした明るい雰囲気の中で、患者さんが楽しんでリハビリを受けていらつしやる姿が目につきました。患者さんのことを第一に考え、専門以外でも真摯に対応される先生のお人柄が通院される患者さんの心の支えになっていることと思います。

今後も高田先生やスタッフの方々と連携を取りながら地域医療に貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

(地域医療部 築地 藤田)

整形外科リハビリテーション科 たかだクリニック

〒569-1145 高槻市富田丘町2-2 スターシア高槻 1F

TEL.072-648-3977

【診療内容】 整形外科・リハビリテーション科

【診療時間】 午前9時～12時30分、午後4時30分～7時30分

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	×

休診日：土曜午後、日曜日、祝日



慢性腎臓病 市民公開講座を開催して

血液浄化センター 看護科長 小田 弘美



腎臓内科 主任部長 高橋先生

8月26日高槻市立生涯学習センター多目的ホールに於いて、北摂地区の透析関連施設及び企業と共催で「第1回慢性腎臓病予防の市民公開講座」を開催し、残暑の中240名という大勢の方にご参加頂きました。

テーマは「慢性腎臓病を予防しよう!!～健康寿命の延伸のために～」で、保健師、管理栄養士、医師それぞれの立場からの講演を企画しました。

保健師からは、高槻市保健所健康づくり推進課が取り組んでいる「はにたん適塩プロジェクト」といった生活習慣病予防の取り組みの紹介、管理栄養士からは減塩食のための具体的な調味料や味付けの工夫など即座に役立つ内容の講演でした。最後に当院の高橋先生より腎臓の働きや検査(尿検査、血液検査、血圧値)、予防などを含めた講演があり、参加された多くの方がとても真剣にメモを取られる姿が印象的でした。



慢性腎臓病予防を啓発しているイメージキャラクター「そらまめくん」、高槻市マスコットキャラクター「はにたん」と講師一同

近年、慢性腎臓病は、私たちの生活をおびやかす新たな「国民病」と注目され日本人(成人)の8人に1人が慢性腎臓病と言われています。慢性腎臓病は生活習慣病との関連も深く誰もがかかる可能性のある病気です。

慢性腎臓病予防には、日頃から自分の健康に注意することが必要です。まずは健康診断を受けてかかりつけ医師に相談してください。当院でも、月曜日～金曜日まで専門の看護師による腎臓病教育指導外来を設けておりますので主治医へご相談ください。

市民公開講座 参加費無料
慢性腎臓病(CKD)を予防しよう!!
 ～健康寿命の延伸のために～

開催日時 2017年8月26日(土) 14:00～16:00 (定員300名限定) (高槻市立生涯学習センター)

開催場所 高槻市立生涯学習センター 多目的ホール (大阪府高槻市橋本2-1) 【交通アクセス】 東横線橋本駅 徒歩 約5分 阪急電鉄京橋駅 高槻市駅 徒歩 約55分

14:45～15:20 腎臓を大切にするために、腎臓病について勉強しよう
 高槻市保健師 主任部長 高橋利昭先生

14:00～14:15 健康に過ごすために
 慢性腎臓病の予防と「はにたん適塩プロジェクト」
 高槻市健康推進課 生活健康課 近藤麻子先生

14:15～14:45 今日から作る健康食
 慢性腎臓病と食事
 管理栄養士 田中春日先生

15:30～16:00 慢性腎臓病の疑問について解説します
 【問答】大阪医科大学 腎臓病科 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生
 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生
 大阪医科大学 腎臓病科 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生
 大阪医科大学 腎臓病科 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生

健康相談
 慢性腎臓病の専門外来
 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生
 大阪医科大学 腎臓病科 高槻市立生涯学習センター 看護科長 小田弘美先生

「8月10日はハートの日」を開催して

地域医療部 科長 家山 温子

8月10日が810(ハート)と読めることから、この日を「健康ハートの日」と日本心臓財団が定め、各地で生活習慣の改善を中心とした心臓病予防啓発活動が行われています。当院でも2回目となる「ハートの日」を8月10日愛仁会看護助産専門学校6階ナイチンゲールホールで開催しました。今年は53名の方に参加頂き、誠にありがとうございました。

第一部では、昨年度と同様に血圧測定、心電図測定、血管年齢測定、筋肉貯金測定、減塩食ブース、今回はお子様でも参加できるようにと人体の自由研究、テーブルマジックやバルーンアートのブースも設置し、大人も子どもも楽しめる体験ブースとなりました。しかし一番目立っていたのは、高槻市のマスコットキャラクターである「はにたん」が会場に遊びに来てくれたことです。参加された方や職員にも大人気で、「はにたん」がそこにいるだけでみんなが笑顔になり、とても楽しいひと時となりました。そして、5月に好評だった「下町ロケット」や「半沢直樹」の監督で有名な福澤克雄監督による講演会が始まりました。当院でのアブレーション治療を受けた感想は「バカみたい」だそうです。それは眠っている間に治療はあつという間に終わり、普通の生活をしていると楽になったとは全く思わないからとの事です。しかし撮影が長く続いた時に治療の効果を実感することなど治療された方しかわからない体験をお話して頂きました。その後「下町ロケット」で天才心臓外科医・一村隼人のモデルとなった大阪医科大学外科学講座胸部外科学教室教授の根本慎太郎先生との対談では、どのように監督が不整脈と気付いたかなど「下町ロケット」の撮影現場風景を交えながらお話して頂きました。とても興味深いお話が盛りだくさんで、あつという間に時間が過ぎました。

第二部を行っている間、「はにたん」は小児病棟などで子どもや職員を元気づけていました。長期間入院治療している子どもの部屋に「はにたん」が立ち寄ると、とても良い笑顔を見せてくれました。「健康ハートの日」だけではなく「心のハートの日」でもありました。また来年も「ハートの日」を開催しますので、みなさまのご参加をお待ちしています。



社会医療法人 愛仁会 高槻病院

- 高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」
- 患者さまの権利
1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
 2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
 3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。
- 患者さまの責務
1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
 2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
 3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

- 愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
- しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
- しんあいくリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号 ☎072-668-5000
- 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号
- 訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
- ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
- ケアプランセンターケアイ ☎072-687-2536
- ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
- しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
- ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
- ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2941
- 介護老人保健施設ケアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
- 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号 ☎072-680-3000
- 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
- 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031